

# 出来形管理基準及び規格値 第8編 砂 防 編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
8 砂 防 編	1 砂 防 え ん 堤	3 工 場 製 作 工	4		鋼製えん堤仮設材製作 工	部	±3…… ℓ ≤ 10 ±4…… ℓ > 10
						材	
8 砂 防 編	1 砂 防 え ん 堤	8 コ ン ク リ ー ト え ん 堤 工	4		コンクリートえん堤本体 工	基 準 高 ▽	●△±30
						天端部 堤 幅 w <sub>1</sub> , w <sub>3</sub>	●△-30
						水通しの幅 ℓ <sub>1</sub> , ℓ <sub>2</sub>	●△±50
						堤 長 L <sub>1</sub> , L <sub>2</sub>	●△-100
8 砂 防 編	1 砂 防 え ん 堤	8 コ ン ク リ ー ト え ん 堤 工	6		コンクリート側壁工	基 準 高 ▽	●△±30
						幅 w <sub>1</sub> , w <sub>2</sub>	△-30
						長 さ L	△-100

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
	図面の寸法表示箇所にて測定。	
	図面の表示箇所にて測定。	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 図面の寸法表示箇所を測定。</li> <li>2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。</li> <li>3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。</li> </ol>		

# 出来形管理基準及び規格値 第8編 砂 防 編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
8 砂 防 編	1 砂 防 え ん 堤	8 コ ン ク リ ー ト え ん 堤 工	8		水叩工	基 準 高 ▽	●△±30	
						幅 w	△-100	
						厚 さ t	△-30	
						延 長 L	△-100	
8 砂 防 編	1 砂 防 え ん 堤	9 鋼 製 え ん 堤 工	5	1	鋼製えん堤本体工 (不透過型)	水 通 し 部	堤 高 ▽	●△±50
							長 さ $l_1, l_2$	△±100
							幅 $w_1, w_3$	△±50
							下流側倒れ Δ	△±0.02H <sub>1</sub>
						袖 部	袖 高 ▽	●△±50
							幅 $w_2$	△±50
下流側倒れ Δ	△±0.02H <sub>2</sub>							
8 砂 防 編	1 砂 防 え ん 堤	9 鋼 製 え ん 堤 工	5	2	鋼製えん堤本体工 (透過型)	堤長L 格	△±50	
						堤長 $l$ 格 B・L	△±10	
						堤幅W 格	△±30	
						堤幅w 格 A・B・L	△±10	
						高さH 格 A・B・L	△±10	

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。</p>		
<p>1. 図面の表示箇所測定する。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。</p>		
<p>(備考) 格：格子型鋼製砂防ダム A：鋼製スリットダム A型 B：鋼製スリットダム B型 L：鋼製スリットダム L型</p>		

# 出来形管理基準及び規格値 第8編 砂 防 編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
8 砂 防 編	1 砂 防 え ん 堤	9 鉄 製 え ん 堤 工	6		鋼製側壁工	堤 高 $\nabla$	$\triangle \pm 50$	
						長 さ L	$\triangle \pm 100$	
						幅 $w_1, w_2$	● $\pm 50$	
						下流側倒れ $\Delta$	$\triangle \pm 0.02H$	
						高さ h	$h < 3\text{ m}$	$\triangle -50$
							$h \geq 3\text{ m}$	$\triangle -100$
8 砂 防 編	2 流 路	5 床 固 め 工	8		魚道工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 30$	
						幅 w	-30	
						高 さ $h_1, h_2$	-30	
						厚 さ $t_1, t_2$	-20	
						延 長 L	-200	
8 砂 防 編	3 斜 面 対 策	6 山 腹 水 路 工	4		山腹明暗渠工	基 準 高 $\nabla$	● $\pm 30$	
						厚 さ $t_1, t_2$	$\triangle -20$	
						幅 w	$\triangle -30$	
						幅 $w_1, w_2$	$\triangle -50$	
						高 さ $h_1, h_2$	$\triangle -30$	
						深 さ $h_3$	$\triangle -30$	
						延 長 L	$\triangle -200$	

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>1. 図面に表示してある箇所にて測定。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。</p>		
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。なお、製品使用の場合は、製品寸法については規格証明書等による。</p>		
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。（なお製品使用の場合は、製品寸法は、規格証明書等による）</p>		

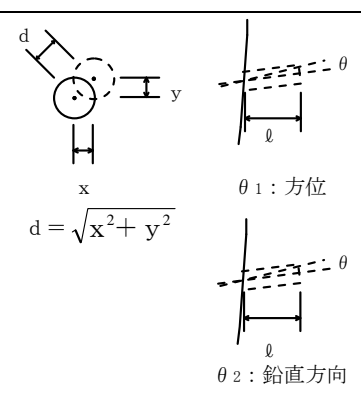
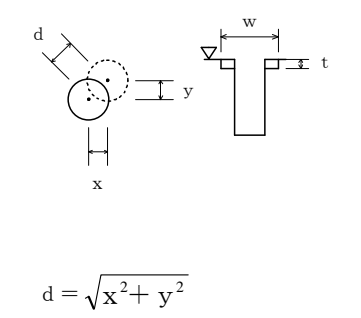
# 出来形管理基準及び規格値 第8編 砂 防 編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
8 砂 防 編	3 斜 面 対 策	7 地 下 水 排 除 工	4		集排水ボーリング工	削孔深さ $l$	●設計値以上
						配置誤差 $d$	●100
						せん孔方向 $\theta_1$ (方位)	$\Delta \pm 2.5$ 度
						せん孔方向 $\theta_2$ (鉛直方向)	$\Delta \pm 2.5$ 度
8 砂 防 編	3 斜 面 対 策	7 地 下 水 排 除 工	5		集水井工	基準高 $\nabla$	● $\pm 50$
						偏 心 量 $d$	●150
						長 さ $L$	● $-100$
						巻立て幅 $w$	$\Delta -50$
						巻立て厚さ $t$	$\Delta -30$
8 砂 防 編	3 斜 面 対 策	9 抑 止 杭 工	6		合成杭工	基準高 $\nabla$	● $\pm 50$
						偏 心 量 $d$	● $D/4$ 以内 かつ 100 以内

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
全数	 <p><math>d = \sqrt{x^2 + y^2}</math></p> <p><math>\theta_1</math>: 方位 <math>\theta_2</math>: 鉛直方向</p>	せん孔方向 $\theta_1$ (方位)の直接測定が困難な場合は、監督職員と協議の上、現場でのせん孔方向の設定時の管理によってもよい。
全数測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。	 <p><math>d = \sqrt{x^2 + y^2}</math></p>	
全数測定。		